

平成 28 年度 第 2 次試験【事例IV】

----うめもんの解答-----

第 1 問 (配点 25 点)

設問 1

(a)	(b)
売上高税引き前当期純利益率	4.15 ( % )
固定資産回転率	1.47 ( 回 )
負債比率	144.90 ( % )

設問 2

顧客の節約志向による収益性の低下に加え、建物の処分で特別損失が発生、他方新社屋の土地取得を遊休資産売却によらず借入金で賄っているためである。(70 字)

第 2 問 (配点 35 点)

設問 1

(単位 : 百万円)

税引前当期純利益	39
減価償却費	( 36 )
減損損失	56
営業外収支	( △8 )
営業外費用	( 20 )
売上債権の増減額	( △1 )
棚卸資産の増減額	( △3 )
仕入債務の増減額	( 3 )
その他	13
小計	( 155 )
利益および配当金の受取額	-
利息の支払額	△4
法人税等の支払額	△35
営業活動によるキャッシュフロー	( 116 )

設問 2

	(a)	(b)
①	<p>土地</p> <p>投資額 320 百万円</p> <p>投資額の現在価値 320 百万円</p> <p>売却価値 320 百万円</p> <p>売却価値の現在価値 226 百万円</p> <p>建物・危惧備品</p> <p>投資額 470 百万円</p> <p>投資額の現在価値 443 百万円</p> <p>売却価値 <del>350 百万円</del> <del>375 百万円</del></p> <p>売却価値の現在価値 <del>247 百万円</del> <del>264 百万円</del></p>	<p>土地</p> <p>投資額 記載のとおり</p> <p>投資額の現在価値 記載のとおり</p> <p>売却価値 320-0</p> <p>売却価値の現在価値 <math>320 \times 0.7050</math></p> <p>建物・危惧備品</p> <p>投資額 <math>420 + 50</math></p> <p>投資額の現在価値 <math>470 \times 0.9434</math></p> <p>売却価値 <math>(420-14 \times 5) + (50 - \cancel{10} \times 5)</math> <del>5</del></p> <p>現在価値 <del>350</del> <math>\times 0.7050</math></p> <p><del>375</del></p>
②	<p><del>74 百万円</del> <del>69 百万絵</del></p>	<p>税引後キャッシュフローにかかる原価係数 <math>4.9173 - 0.9434 = 3.9739</math></p> <p>キャッシュフロー <math>\times 3.9379</math></p> <p><math>\geq (320+443) - (226 + \cancel{247})</math> <del>264</del></p>

第3問 (配点 15 点)

	(a)	(b)
	<p>貢献利益 9 百万円</p> <p>49(限界利益) - 40(共通固定費配賦額)</p>	<p>閉店すべきでない。限界利益がプラスであり、共通固定費の回収に貢献しているからである。</p> <p>(42字)</p>

第4問 (配点 25 点)

設問 1

手数料負担による変動費が増加し、減価償却費分の固定費が削減される。手数料が減価償却費を超えない範囲の売上で収益は改善する。(文末句点含め 61 字)

設問 2

	(a)	(b)	
①	860 百万円	限界利益率 560 ÷ 1120 = 50%	損益分岐点売上高 430 ÷ 50%
②	△18 百万円	限界利益率 50% + 0.6% 固定費 430 - 8(予約管理費改善) + 4(減価償却費) 損益分岐点売上高 426 ÷ 50.6% 変動 860 - 841.89….	
③	△10 百万円	損益分岐点売上高 430 ÷ 50.6% 変動 860 - 849.80….	